

平成30年度 公益社団法人榎原市シルバー人材センター
事業報告書

I 概要

近年の高齢者の雇用状況については、少子高齢化が進む中で高齢者の雇用・労働政策として、高齢者雇用安定法の改正により、継続雇用制度の導入等による定年退職者の企業内雇用が図られるようになりました。

このような状況において、当シルバー人材センターは公益社団法人に移行して8年目を迎え、厳しい社会情勢の変化の中で、着実な事業の推進が求められることから、受注の確保・拡大や会員増強等に取り組みました。また、適正就業につきましても、会員及び発注者それぞれに対し丁寧な説明を行い、働き方の理解を得ながら、例年通り着実に進めて参りました。

平成30年度は前年度に対して、会員数583名（男398名、女185名）で2名の減となりました。契約金額は274,278千円となり、前年度比で486千円と極僅かですが増加となりました。これらは、センター事業の拡大・確保のための取り組みにより、一定の成果を得ることが出来ました。

事故件数については、前年度と同数の24件となりましたが、事故ゼロを目標として、全ての会員が安全就業対策について意識付けを図り、行動していかねばなりません。

また自主・自立・共働・共助のシルバー人材センターの理念の下、会員の就業に当っては班組織とすることが相応しく、剪定の部では昨年度に班が形成され、班体制の下、会員が日々就業しています。今後は、草刈・草引の部でも班体制の確立が望まれ、会員主体の組織基盤としていかねばなりません。

II 事業結果について

1. 会員の状況

平成30年度の会員数（平成31年3月31日現在）

男 性	398名
女 性	185名
合 計	583名

2. 受託事業の状況

受託事業（延契約件数）	8,774 件
就業延日人員	69,261 人
就 業 率	91.1%
契 約 金 額	274,278,853 円
[内 訳]	
a 配分金	222,415,804 円
b 材料費	29,876,209 円
c 事務費	21,986,840 円

3. 就業開拓事業

当センターの仕事の紹介と入会案内を兼ねたチラシを作成し、4月の市広報誌に折込みすると共に、入会説明会をほぼ毎月開催しました。

10月には、市主催のふれあい・いきいき祭に出展し、啓発物品として、会員手作りの小物を配布し、当センター及び仕事内容を主に写真で紹介しました。その他、10月5日には、なら100年会館で開催された「第3回シルバーフェスタ in なら」に県内のシルバー人材センターと共に出展しました。

4. 安全就業対策

会員が就業に伴う事故を未然に防止するため、安全就業対策委員による就業現場のパトロールを通じて、安全保護具の着用の指導や安全ミーティング（就業前・後）の実行により、事故防止を促しました。また安全就業講習会の開催のほか、危険予知訓練（KYT）を初めて開催し、現場の状況に応じた安全注意を会員間で議論し、安全意識の高揚を図りました。

5. 福祉・家事援助・子育て支援サービス事業

下記の事業を推進して参りました。今後も少子高齢化及び核家族化等の進行に伴い、これらの事業はますます重要性が高まるものと思われれます。

事業名	事業対象者
福祉・家事援助サービス	支援（手助け）必要な人
新総合事業	介護保険制度の要支援該当者
子育て支援サービス	市実施のイベントで託児が必要な方
ママヘルプサービス	産後に支援の必要な母親

6. 各種講習会等の実施

会員が長年培ってきた経験・知識・技能をより一層向上させる為、下記の講習会を開催し、多様化するニーズに応えることが出来る人材育成と会員意識の向上に努めました。

- 草刈・草引・剪定の就業体験講習会
- 交通安全講習会、健康講座
- 家事援助サービス就業会員研修会
- 介護実習、対人援助講習
- 子育て支援事業講習
- 派遣会員教育訓練
- 安全就業講習会、危険予知訓練（KYT）
- チェーンソー取扱い講習

7. 奉仕活動事業

10月の第3土曜日は「シルバーの日」(社会奉仕活動の日)として、毎年多数の会員により清掃作業を行っています。平成30年度は10月20日に中央公民館及び万葉ホール周辺に於いて、会員理事主導の下、約120名の会員が除草・清掃活動を実施しました。

また翌日の21日には、万葉ホールにて開催の「ふれあい・いきいき祭～橿原市健康と社会福祉の祭典」に出展し、ブースにて会員が当センターのPRを行い、会員が手づくりした小物と共にパンフレットを配布し、シルバー事業の普及啓発に努めました。

8. その他

少量危険物保管庫を6月に設置し、燃料の適正な保管を図ると共に、会員に対して、携行燃料の適正な運搬の指導に努めました。